

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式									
EU41C202		授業分析の理論と実践研究(Theories and Practical Researches on Class Analysis)					高度専門科目											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択	2	1	教育学研究科	後期		氏名 河野晋也，森竹啓介												
						E-mail kouno-shinya@oita-u.ac.jp，moritake-keisuke@oita-u.ac.jp 内線 河野：6133，森												
授業概要	授業分析は、実際の授業の観察や指導案、また、学習者の学習成果の評価を通して実施される。そこで、授業を構成する要素(「目標・内容・方法」)と授業技術(発問・教材・学習活動・学習形態)に焦点をあて、授業分析の理論に基づいた実践的方法の習得を目指す。小中学校の教科の授業の指導案や授業記録(映像)、実際の授業観察を行い、分析を実施し、その結果を考察する。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	授業分析に関する理解を深め、課題を発見し、具体的な対応を立案・検討することができる。									○		○						
目標2	授業分析技術向上のための実践的知識を有し、具体的事例をもとに課題を発見し具体的な対応策を立案・検討することができる。									○	○							
目標3																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 授業テーマの理解(授業分析とは何か：観察や指導案を通した分析、学習評価による分析)																		
2 何を分析するのか：授業の要素(「目標・内容・方法」、授業技術																		
3 授業分析の方法(着眼点)：「目標・内容・方法」、「発問・教材・学習活動(過程)・学習形態」																		
4 事例研究1-1：授業観察による分析(実践事例を基に)...DVDの視聴																		
5 事例研究1-2：授業観察による分析の検討...前時の授業の分析の発表と討議																		
6 授業の見方/授業記録の取り方の実際																		
7 事例研究1-3：指導案による分析(第4回で取り上げた授業を指導案から分析)																		
8 事例研究2-1：小中学校の授業の分析(教科等1)...指導案+DVDの視聴																		
9 事例研究2-2：小中学校の授業の分析(教科等1)...前時の授業の分析の発表と討議																		
10 事例研究3-1：小中学校の授業の分析(教科等2)...フィールドワークで授業観察(前半)																		
11 事例研究3-2：小中学校の授業の分析(教科等2)...フィールドワークで授業観察(後半)																		
12 事例研究3-3：小中学校の授業の分析と討議(教科等2)...分析の発表と討議																		
13 事例研究4-1：「立ち会い授業」の分析(小中学校の教科等3)...指導案+DVDの視聴																		
14 事例研究4-2：「立ち会い授業の分析」の分析...各自の分析の発表と6つの分析の検討																		
15 授業のまとめ、振り返り																		
ラック ニテ ンブ	A:知識の定着・確認				付箋紙や概念図等の思考ツールを用いた、ワークショップ型授業分析の協働的な手法を実施		工夫 その他		様々な校種や年齢(現職派遣生、学部卒生)が混在する小集団を形成し、多角的な視点で授業を分析できるようにする。									
		B:意見の表現・交換		○														
		C:応用志向																
		D:知識の活用・創造																
時間外学修 の内容と時間 の目安	準備 学修	視聴した授業(DVD等)の分析レポート作成(10h)																
	事後 学修	最終レポート作成に向けての、毎回の授業の所感の記録(15h)																
教科書	教科書は指定しない																	
参考書	「授業研究と授業の創造」(的場正美・柴田好章, 2018, 溪水社, ISBN:4863274483) 「教育研究のための質的研究法講座」(関口靖広, 2013, 北大路書房, ISBN:4762828092)																	
成績 評価 の 方法 及び 評価 割合	評価方法					割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10		
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取り組む姿勢、討論への参加など)					70%	○	○										
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)					30%	○	○										
注意事項																		
備考																		
リンク																		
	URL																	

担当教員の 実務経験の 有無	○
教員の実務 経験	河野晋也（小学校）／森竹啓介（中学校、教育委員会事務局）
実務経験を いかした教 育内容	小学校・中学校教員としての実務経験、または指導主事としての実務経験を生かし、新学習指導要領に基づいた小・中学校の授業分析等についての指導助言を行う。